

オリンピック中止は民衆の総意 7・23渋谷デモへ！！

～労働組合を軸に絶対反対で闘おう～



労働者は五輪を 許せない

オリンピック開会式が予定されている7月23日が迫っています。新型コロナで医療が崩壊し、解雇や賃下げで膨大な数の労働者が生きられない状況に追い込まれる中での開催に、社会のあらゆる階層から怒りの声があがっています。4度目の緊急事態宣言が出され、民衆には"自粛"が求められる一方、コカ・コーラなどスポンサー企業の宣伝パレードにしか見えない聖火リレーが日本中を回り、会場での酒類の提供は前向きに検討されるなど、オリンピックの「特別扱い」に労働者の怒りは限界を超えています。

特別扱いの陰で犠牲になるのは私たち民衆です。それは、コロナで働き口を失ったり減らしたりした労働者、学校行事や課外活動を奪われたまま協力させられる学生、そしてなにより、必要な支援が全く不十分なままコロナ対応の最前線に立たされている医療労働者です。労働者と社会全体に犠牲を押し付けながら、ごく一部の権力者や利権屋のためだけに開催されるのがオリンピックです。

オリンピックと労働者は絶対に相容れないことははっきりしました。私たち労働者の力で絶対に中止させましょう！ 7・23渋谷デモ（詳細裏面）に結集しましょう！

動員拒否して闘おう

組織委員会は、大会のために毎日約500人、大会期間中延べ1万人もの医療労働者の派遣を要請しています。これ



「改憲・戦争阻止！大行進」が呼びかけた6・6新宿大行進。
500人がオリンピック中止を訴えて新宿駅から都庁へデモ行進した。

は休日返上の"ボランティア"として行われます。また、大会期間中は大会関係者向けに一日最大7万件の検査をすると政府・組織委員会が推計しています。

今でさえ全国の医療労働者はぎりぎりの体制でコロナ対応に当たっています。さらに、病床の逼迫で陽性になっても入院できないコロナ患者が急増、自宅療養中に亡くなる人の増加も問題になっています。東京都内のコロナ検査数は6月第5週時点で一日たったの11518件です。どこからそんな医療体制が降って湧くというのか！ 命を守るために日々命がけで戦っている医師・看護師を組織委員会の都合でむりやり動員していくことでしか、こんなことは実現できません。組織委員会の要請は、オリンピックを用いた「命の選別」にほかなりません。

学校・教育の現場も大きな焦点です。この間、小中高校の児童・生徒を中心に100万人以上を五輪競技観戦に動員する「学校連携観戦」が狙われていました。大会期間中は選手団や大会関係者によって貸し切りバス等が満席になるため、移動には公共交通機関を使えという指示もなされています。児童・生徒の感染リスクを可能な限り減らそうと

全学連

全日本学生自治会総連合

メール : mail_cn001@zengakuren.jp
ツイッター : @Zengakuren
ホームページ : www.zengakuren.jp



「反五輪の会」等8団体の主催で行われた6/23の集会&デモ。850人が集まった。



立川相互病院の窓に貼られた「医療は限界 五輪やめて! もうカンベン オリンピックむり!」

している教育労働者の努力を踏みにじるものです。

医療労働者も教育労働者も我慢の限界です！ 反五輪行動には白衣を着た多くの医療労働者が参加して怒りの声を上げ、病院の窓に「オリンピックむり！」と張り紙をする動きもあります(右写真)。また、多くの教育労働者の仲間が、自治体の教育委員会等に観戦中止・オリンピック中止を申し入れる行動に決起しています。

8日の緊急事態宣言の決定で、首都圏での学校連携観戦は中止になりましたが、7日までに中止を決定した自治体は、埼玉県で71%、神奈川県で64%、東京都で56%、千葉県で50%に上っていました。学校単位で拒否する事例もありました。労働者が団結して動員を拒否すれば、オリンピックは必ず中止に追い込めます！

五輪は戦争への道

オリンピックに反対の声は「五輪の関係者・観戦者によって感染が広がるから」という理由だけで起こっているのではありません。国のために民衆が進んで生活も命も投げうつつことが当然とされるような社会体制作りの道具として、オリンピック強行があるからでもあります。

既に述べたように、菅政権はオリンピックを口実に労働者に負担を押しつけることを正当化しています。自治体労働者や自衛隊を"国策"に動員していく姿も戦争そのものです。

自衛隊は「五輪運営支援」と称して、セキュリティチェックや沿道警備などのために約8500人を派遣されると言われています。軍隊を使って反対運動を暴力的に抑え込む戦時体制作りです。菅政権の進める改憲・戦争政策の決定的な一環が、オリンピックなのです。

全民衆の怒り解き放つ大運動を

社会の多くの人々の中に理不尽な社会に対する怒りは渦巻いています。多くの人が行動に決起しています。この全ての怒りを束ねて行動に移すことができれば、オリンピックを中止させることも、世の中を変えることも必ずできます。8日に1都3県での無観客が決定しましたが、これは菅政権が"決断"したからではなく、多くの民衆が反対の声を上げたことで追い詰められたからです。菅をはじめ支配階級は、「復興五輪」「人類がコロナに打ち勝った証としてのオリンピック」と強弁することで開催強行へと突き進んできましたが、その目論見は労働者の行動によって確実に阻まれています。

すべての労働者・学生・市民は、職場で闘い、動員を拒否する労働組合を中心に、街頭行動や署名を駆使して立ち上がりましょう！「改憲・戦争阻止！大行進」がよびかける開会式予定日7/23の渋谷デモに集まりましょう！

オリンピック開会式予定日直撃！！ 菅政権・小池都政打倒！！

7・23渋谷デモ

7月23日（金・休）

（15:00 集合）15:30 デモ出発@はるのおがわコミュニティパーク

17:00～18:00 リレートーク@渋谷ハチ公前

主催：「改憲・戦争阻止！大行進」 <http://stop-kaiken.blog.jp/>